

II 暮らしの向上

1 健康づくりの推進

主担当部局(長)名
健康福祉部長 土井 敏多

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。

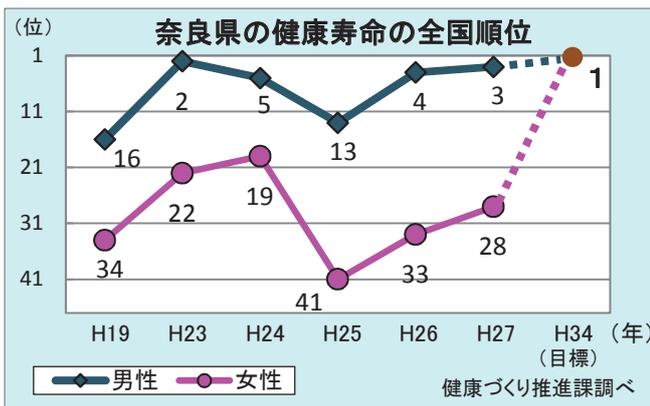


「がん検診を受けよう！」
奈良県民会議 講演会

これまでの成果

- ・禁煙支援アドバイザー研修会には104人の薬剤師が参加し、禁煙スタートアップ講習会には25人が参加しました。また、禁煙支援協力薬局へ登録証とステッカーを配付し、55施設が登録しました。
- ・特定健診実施率・特定保健指導利用率の向上に向け、市町村、国保連合会と連携して、市町村の取組の好事例集を作成し、市町村情報交換会やホームページ等において周知を図りました。
- ・「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会及び講演会を開催し、約420人が参加しました。また、啓発活動を同時に実施し、会員90人が参加、啓発グッズを1,500セット配布しました。

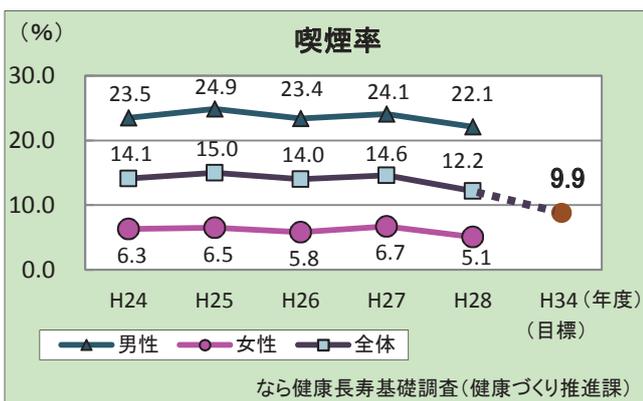
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成34年度までに、県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。(H25年 男性:13位、女性41位)
取組	健康寿命の延長に寄与する健康行動につながるよう、減塩教室、禁煙支援リーフレットの普及、健康ステーションの運営、市町村と協働したがん検診受診率向上等の取組を行いました。
成果	平成27年の健康寿命の全国順位は、男性3位、女性28位で、前年と比べ上昇しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<p>①平成34年度までに、成人県民の喫煙率を9.9%に減少させます。(H23年:14.2%)</p> <p>②平成34年度までに、65歳未満の死亡率を男性193人、女性103人(人口10万人当たり人)以下に減らします。(H23年:男性215人、女性115人(人口10万人当たり人))</p> <p>③平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(H22年度:胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%)</p>
------	--



取組	行動変容につながるよう禁煙行動を促す要因を分析して作成した禁煙支援リーフレットの活用、COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策予防講演会の開催等に取り組みました。(①)
成果	禁煙支援リーフレットを18市町村(約6,000枚)、病院・薬局・歯科診療所計196機関(約16,000枚)に配布して活用しました。また、COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策予防講演会に105人が参加しました。これらの取組により、喫煙率は、全国的に低い水準の12%程度で推移しています。